

CASBEE-建築(新築)2014年版
(仮称)出光美術館門司増築工事

欄に数値またはコメントを記入

 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.3
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		4.2	0.15	-	-			4.2
1.1 騒音	目標値:NC30	5.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		5.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能	T-2	5.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能	Dr-46	5.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		4.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		4.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	3.0	-			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
3 ゾーン別制御性	利用者ゾーンとバックヤードゾーンで切り替え	3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境		3.6	0.25	-	-			3.6
3.1 昼光利用		3.4	0.30	-	-			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	階段1上部にトップライトを設置	4.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 昼光制御		3.0	1.00	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御	各部屋毎に照明制御が可能、かつ事務室にて集中管理が可能	5.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		2.6	0.25	-	-			2.6
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.3	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	3.0	-			
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.3
1 機能性		3.1	0.40	-	-			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40	-	-			
1 広さ・収納性	事務室に余裕を持たせた広さを確保	4.0	0.33	-	-			
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33	-	-			
3 バリアフリー計画	バリアフリー条例遵守	4.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	0.33	-	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-			
3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	海が近いことから塩害対策を行っている	3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.2	0.30	-	-			3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.5	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	20年以上	4.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	15年以上	4.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管に一般配管用ステンレス鋼管、排水に硬質塩化ビニル管を使用	4.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			3.6	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電設備・無停電電気設備を設置、電気設備は1F以上に設置	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	評価する取り組みに4つ該当	5.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.8	0.30	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	展示室5.5m(CH3.5m)	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		共用部3,500N/m ² 以上、展示室他作品搬出入部分10,000N/m ² 以上	4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	配管内ケーブルとし、点検口を設けることで仕上材を痛めず更新可能	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	配管内ケーブルとし、点検口を設けることで仕上材を痛めず更新可能	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		既存樹木を残す計画	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		モデル建物法[BPI _m]=0.58	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		階段1上部にトップライトを設置し、屋光利用を行っている	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.67 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		モデル建物法[BEI _m]=0.67	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水型便器を使用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	路盤材料:再生クラッシュラン、断熱材:ポリスチレンフォーム保温版	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	内部の間仕切り壁はLGS乾式壁とし、将来への改修のしやすさに配慮	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用	仕上げ材は原則F☆☆☆☆を使用し、その他油外物質の含有にも配慮	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		敷地内の既存樹を残し、緑地を確保	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	